

# 3 資質・能力の育成

主体的・対話的に学ぶ

## 思考力・判断力・表現力等の育成

- **知識**として身につけた英語を、言語活動の中で**使用する力**を養います。

Unit 内の Activity では発表活動や、ペアまたはグループでの会話をします。学んだ英語を実際に使ってみることで、表現する力の基礎を養います。



- **積極的に英語で他者と会話し、表現力**を養います。

Activity や扉のページを利用した Small Talk の中で、相手の良い点に気づいてまねをしたり、自分の話が相手にうまく伝わっているかを考えたりしながら伝え方を模索します。



- **理解したことを**どのように使えば、自分の言いたいことを相手に伝えられるかを**思考し、判断し、表現**します。

REVIEW では、提示された場面で、どのようなことを、どのような英語を使って伝えればよいのかを考えます。



## 知識及び技能の育成

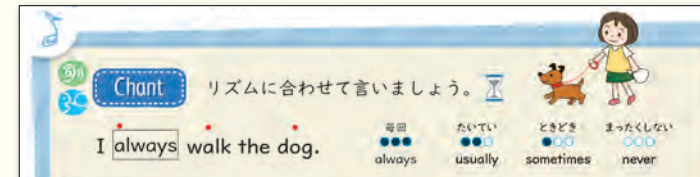
- **思考力を働かせ**、自ら気づき、**理解できる**ようにしています。また、他者と対話し、互いの気づきを共有することで、**より深い知識を身につけます**。



It's 8:00 now. I do my homework.

語句や表現を導入する際に、イラストなどをヒントとして音声を聞くことで、日本語を介さず、児童が自ら、その意味や使い方に気づけるよう促します。

- Jingle や Chant, その他活動や演習を通して定着を促します。



理解した表現を、聞く活動や話す活動の中で、繰り返し聞いたり口にしたりし、定着させます。

相互に作用 し合い、  
**3つの資質・能力を**  
育て ます

## 学びに向かう力・人間性等の涵養

- 異なる言語や異文化について**知る**ことで、**興味や関心を持って**言語や異文化に関する情報を自ら調べ、新たな知識を身につけようとします。
- 異なる言語や異文化についての**知識を持つ**ことで、会話の際に**相手の持つ文化について考え、配慮できる心**を育みます。



日本では、正解には○、不正解には×か✓を付けることが多いです。アメリカでは✓が正解を表します。



アメリカの昼食：お弁当を持ってきたり、カフェテリアで食べたりします。  
フランスの昼食：長い昼休みの間に家に帰って食べたり、カフェテリアで食べたりします。

各 Unit で異文化に関する内容を取り上げ、同様の情報についてもっと知りたいという意欲をわかせる。

日本と異なる外国の文化に触れ、固定概念にとらわれない柔軟な考え方や人への接し方を身につけます。